

2023（令和5）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
あきつの園

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①個別のニーズや特性に応じて環境を整備するとともに、個々の能力を引き出し、平均工賃2万円台を維持する。

②職員は、利用者、保護者とのコミュニケーションを積極的に行い、人権を守り、自立の助長に繋がる支援をする。

③福祉施策や制度の動向など新しい情報を常に意識し、サービスに活かす。

④地域に向けた広報活動を積極的に行い、地域交流を図ることで、地域に開かれた事業所を目指す。

・利用者の特性を捉え、個別対応や環境調整を工夫するとともに、高工賃支給の維持に努めた。

・コロナ禍以降実施していなかった施設祭を再開し、近隣の方に多く来場していただき、交流の良い機会となった。資源回収や事業所周辺の清掃を継続し、それらの活動を通じて地域の方と日常的な関わりを持つ事が出来た。

・必要に応じて関係機関と連携を取り、事業所の日課包括的に支援をした。

・日常的に個別に利用者との意見交換や話し合いの場を設け、積極的なコミュニケーションを心がけ、支援の適正化を図った。また、定期的な保護者会や個別面談の実施により、利用者やその家族のニーズの把握に努めた。

（3）中期目標（令和4年度～令和6年度）

①研修等を通じて職員の資質向上を図り、チームとして課題に取り組むことで、サービスの質の向上を図る。

②市役所、医療機関、その他関係機関と連携する体制を作り上げ、利用者支援の仕組みを再構築しながら、法人内施設での日中活動を継続する。

③安定した作業を提供し、平均工賃2万円台の維持を目指す。

④積極的な情報開示、情報発信により、透明性のあるあきつの園を目指す。

- ・職員会議などの場面で、虐待防止・権利擁護について話し合う場面を多く持ち、自分たちのサービス提供について振り返った。
- ・利用者個々の状況に応じて、将来を視野に入れたサービス利用の検討をし、必要に応じて法人内事業所や関係機関と連携を取り、様々な支援を行なった。
- ・自主生産販売のためのイベント等の参加の機会を増やし、売り上げ増につなげた。室内作業は既存の作業の効率化を図り、受注量増につなげた。屋外作業では、職員間の情報共有を徹底し、質の確保と危険回避に努めた。
- ・保護者会にて日々の活動の様子や、行事その他の情報をお伝えし、事業所や法人の取り組みなどについて理解の促進を図った。配布物、掲示物などを活用し、利用者や、地域に向けて情報発信をした。

2. 施設概要

- (1) 施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）
- (2) 利用定員 40名（現利用者数：40名）
- (3) 開所年月 平成24年4月（平成30年10月1日全面改修）
- (4) 施設規模
- | | |
|------|-----------------------|
| 敷地面積 | 685.07㎡ |
| 延床面積 | 518.64㎡ |
| 建物構造 | 鉄筋コンクリート造（地上2階地下0階建て） |
| 賃貸区分 | （土地）市より賃貸 （建物）所有 |

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名
支援員（常勤職員）	5名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名
支援員（非常勤職員）	11名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	0名
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	19名

(2) 嘱託

医師（2回／年）	1名
----------	----

看護師	(0回/年)	0名
理学療法士	(6~8回/年)	1名
作業療法士	(0回/月)	0名
合計		2名

4. 利用者状況 (令和6年3月31日現在)

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	1名	16名	17名	6名	0名	40名
身体障害者手帳	5名 (重複)					5名
精神保健手帳	0名					0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 33.8歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	3名	11名	7名	8名	3名	0名	32名
女	0名	3名	4名	0名	1名	0名	8名
合計	3名	14名	11名	8名	4名	0名	40名

最低年齢 男…19歳 女…20歳 最高年齢 男…57歳 女…56歳

平均年齢 男…34.3歳 女…31.9歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	東久留米市	足立区	入間市	清瀬市	所沢市	合計
24名	4名	1名	2名	8名	1名	40名

(4) 障害支援区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	5名	5名	14名	2名	1名	13名	40名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	3	1											4
退所者						2			1	1			4
月末数	43	44	44	44	44	42	42	42	41	40	40	40	506
延べ日数	946	1012	968	1012	1012	968	966	924	966	943	840	920	11,477
延べ人数	893	907	902	895	784	912	898	851	881	830	762	828	10,343
出席率(定員)	101.5	98.6	102.5	97.3	85.2	103.6	97.6	96.7	95.8	90.2	90.7	90.0	95.8
出勤率(現員)	94.4	89.6	93.2	88.4	77.5	94.2	93.0	92.1	91.2	88.0	90.7	90.0	90.1

5. 日課

(1) 月~金曜日 (あきつの園活動予定)

時間	内容
8:25~	登園・職員打ち合わせ

8:45~9:00	朝礼・ウォーキング or 体操
9:00~12:00	作業・ストレッチ（途中10分休憩）
12:00~13:00	昼食・昼休み・個別相談・連絡ノート記入
13:00~15:30	作業・ストレッチ・園内清掃（途中10分休憩）
15:25~15:45	送迎（徒歩）・園内清掃
15:45~	終礼・退園・職員打ち合わせ・他

(2) 土曜日

8:25~	登園・職員打ち合わせ
8:40~11:15	朝礼・体操・作業・個別相談・連絡ノート記入
11:15~11:30	掃除
11:30~	昼食・終礼・退園・送迎
12:00~	職員打ち合わせ・他

※基本的に作業だが状況に応じてレクリエーション行事を行う。

6. 重点目標

(1) 健康・衛生

- ①感染症予防対策として、徹底した手洗い、手指消毒と検温、施設内消毒、車両消毒、換気を行う。
日々の利用者の健康状態に気を配り、体調不良時は、保護者、医療機関等と連携し迅速に対応する。生活リズムを整え、規則正しい生活を送ることの大切さを周知する。
- ②健康診断・婦人科検診・予防接種・歯科健診を年1回、体重・体脂肪測定等を毎月行い、家庭やGHに情報を提供する。家庭環境を考慮して、歯科通院、耳鼻科通院等（実費負担）を行う。
- ③朝の体操、週1回のウォーキング、ストレッチ、運動レクリエーション等を実施し、気分転換や運動機能の維持を図る。また、個別支援計画に基づき理学療法士が計画した運動プログラムを実施する。
- ④常時服薬している方の服薬管理を徹底する。災害時用の服薬（3日分）を事業所に保管し、定期的な入れ替えを行う。
 - ・感染症対策を継続し、集団生活の中で空間を分けて対策すると共に、家庭での検温、困難な方には個別に対応した。体調不良者発生時には、保護者と連携し迅速に対応した。
 - ・身体機能の低下が懸念される方へ個別の運動プログラムを実施した。職員間で個々の状態の共有を促進し、運動の際に適切に援助できるようにした。週に1回程度全員で山鳩体操を実施し、利用者の体力維持を図った。作業場面にて運動機会が少ない方へウォーキングなどの体を動かす場面を提供した。

嘱託医相談	内科（むらせ医院 奥平 医師）	5/18・12/7
	理学療法（PT相談・指導）	5/9・6/13・8/8・9/12・11/12・12/12・2/20・3/12
健康診断	あきつの園（白十字病院 健診車）	4/18
婦人科検診	白十字病院	6/20
内科検診（健診結果）	あきつの園（白十字病院）	5/10
歯科健診（自費）	あきつの園（折笠 歯科医）	来年度実施検討

歯科健診（公費）	あきつの園（折笠歯科医）	2/16
インフルエンザ予防接種	あきつの園（白十字病院）	11/13
体重・体脂肪測定	あきつの園	毎月第4土曜日
新型コロナワクチン接種	市役所にて実施	6/6（6回目）、10/17（7回目）

（2）家庭・地域生活

- ①ヘルパー、短期入所の利用等、市役所・相談支援事業所等と連携し、福祉サービスの情報提供を行い、将来に向けて選択肢を広げる取り組みをする。
- ②衣類・日常生活用品の買い物、散髪等、個別のニーズに応じて実施する。
 - ・同法人せせらぎの里ショートステイや、ヘルパーを利用しての外出の充実など関係機関と連携を図り将来の選択肢を広げる取り組みをした。
 - ・買い物サービスを実施し、利用者自身で商品を選ぶ楽しさや生活の充実を図る機会となった。
 - ・コロナ禍により、外出の機会が減少していた状況をふまえ、事業所内に市内・市外の様々な外出先の掲示をし、外出の動機づけをした。

〈テイクアウト給食 実績〉

日時	参加人数	実施場所
2/28	36名	松のや、やよい軒、ピアーズ、夢者、ダンダダン酒場

〈買い物サービス 実績〉

日時	参加人数	実施場所
6/29	8名	ファッションセンターしまむら

（3）作業・係活動

- ①作業マニュアルを定期的に見直し周知します。作業を効果的に進めることで、平均工賃2万円を維持する。
- ②契約業者の信頼を獲得し安定した作業提供を行うと共に、作業種、作業内容を整理する。個別のニーズや特性に応じて、環境面で構造化し、小集団での作業を構築する。
- ③目標を設定し、達成感や充実感、喜びが得られるように支援する。本人の強みに着目することで潜在能力を引き出し、作業能力の向上を図る。
- ④係活動（清掃、洗濯、配膳等）を通じて、施設内の衛生的な環境を保ち、自立に向けて日常生活技術の獲得も目指す。
- ⑤労働災害や車両事故等の未然防止と再発防止に努める。
 - ・職員間で情報共有を図り、作業の進め方について再度周知し、統一された方法のもと品質を保ち、安定した収入へ繋がった。外作業について、その都度変更点や注意点など迅速に職員間で共有し、意識を高く持ち品質の安定に努めた。
 - ・安定した作業を行い、作業時に契約者より労いや御礼の言葉を受ける等、信頼に繋がった。来年度の契約を結び、安定した作業提供へと繋がった。
 - ・個別ニーズに応じて環境調整を行ない、場面を変えての作業を実施した。職員配置で施設全体の安全面・円滑な作業の工夫を行なった。
 - ・日々のミーティングやケース会議を通じて個々の課題を洗い出し、情報共有する事で統一された

支援方法を展開した。

- ・係活動を通じて、生活面でのスキルや衛生面への意識、集団生活への個々の役割等を見出し、利用者が主体的に行動し実施した。

作業・就労活動

① 事業所内活動

(単位:円)

作業名	受注・納品先	作業内容	稼働数	参加者	令和4年度収入	令和5年度収入
受注	鈴木紙工	ショッピングバック 作成他	週5日	全員	1,131,022	1,332,130
清掃事業	東村山市・西武・武蔵野公園・佛眼寺・宝泉寺・他 全生園草むしり	ゴミ拾い・落ち葉掃き・ トイレ掃除・ゴミ捨て・ 他 全生園敷地内	月20回 以上	数名	7,254,891	6,968,951
木工	国立博物館・正福寺地蔵堂・都庁・他	木工製品の作成・販売	週5日	数名	2,307,900	2,482,088
回収事業	三栄サービス	資源回収	週5日	数名	2,526,372	2,507,904
その他事業	市内・他	ポスティング・他	年数回	数名	153,419	116,380
拠点区分間	法人内	木工製品・他	不定期	数名	14,400	15,200
小計①					13,388,004	13,422,653

パート・アルバイト

(単位:円)

	受入先	作業内容	稼働日	参加者	令和4年度収入	令和5年度収入
パート契約	白十字ホーム	施設内清掃	週3日	3名	1,881,405	2,001,749
パート契約	万寿園	施設内清掃	週3日	1名		
パート契約	(株)いなげや	青果・雑用	週5日	1名		
小計②					1,881,405	2,001,749
合計①+②					15,269,409	15,424,402

工賃支払実績

(単位:円)

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	948,040	22,047	51,750	4,750	164,087
5月	888,850	20,201	50,320	4,780	159,593
6月	823,380	18,713	44,860	4,640	166,391
賞与	239,810	5,450	9,900	3,130	
7月	794,520	18,057	41,130	3,940	184,136
8月	757,730	17,221	42,850	3,000	163,871
9月	550,940	12,521	26,770	4,620	159,859
10月	868,130	20,670	45,730	4,700	166,968
11月	1,144,520	27,250	62,910	5,040	167,614
12月	1,064,920	25,355	58,290	5,290	179,862
賞与	239,750	5,449	9,710	3,440	

1月	855,050	20,855	47,190	4,080	168,304
2月	565,060	14,127	28,380	3,630	158,369
3月	1,519,719	37,993	77,359	4,970	162,695
合計	11,260,419	265,909	597,149	60,010	2,001,749
平均	938,368	22,159	49,762	5,001	166,812

※パート・アルバイトについては本人へ直接支給される。

自主生産品販売活動状況

月 日	内 容	場 所	参加利用者数
4月	緑の祭典	中央公園	1名
6月	菖蒲まつり	北山公園	1名
10月	白十字フリーマーケット	白十字ホーム	1名
	社会事業大学学祭	社会事業大学	利用者参加なし
11月	地蔵まつり	正福寺	1名
	産業祭	市民センター周辺	1名
	青葉マルシェ	空堀川下堀公苑	利用者参加なし

(4) 就労支援

- ①個別支援計画に基づき、パート勤務を希望している方へ就労支援を行う。
- ②就労意欲の維持、向上を図り、就労および生活に係る支援をする。
- ③トラブル等に迅速に対応し解決策を見だし、パート勤務が継続出来るようにサポートする。
 - ・パート就労の他、就労支援室やハローワークに登録する等、就労に繋がるアプローチを実施した。
 - ・パート希望者に対し、繰り返しの実習を積み、安定したパート就労へと繋がった。
 - ・定期的な巡回を行い、先方との信頼構築や利用者の情報交換により、安定したパート就労へのサポートを行なった。

(5) 昼食

- ①清潔で衛生的な環境整備を行う。
- ②食べる楽しみを通して仕事をする生きがいに繋げる。
- ③ソフト食や刻み食等、利用者の健康状態に合わせたメニューを可能な限り提供する。
- ④四季の移り変わりを感じていただけるように、旬の食材を使った行事食や郷土料理、世界の料理やリクエストメニューを用意し、食べる楽しみを感じてもらう。
 - ・衛生面に配慮し、清潔な状態で食事を楽しめた。また、消毒方法についても職員間で周知徹底を行なった。
 - ・月に一度の給食提供業者との会議を実施し、利用者からのメニューリクエストや要望等の情報交換をし、さらなる食への安全や楽しみに繋がった。
 - ・利用者の高齢化や障害特性に伴い、誤飲や声掛けの必要がある利用者に対し、職員が見守りをできる体制づくりをした。

栄養基準量（荷重平均値）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
計画	804kcal	29.0g	127.8g	23.8g	258mg	0.47mg	0.53mg	38mg
実績	626kcal	23.3g	91.6g	19.7g	114.5mg	0.36mg	0.29mg	37.5mg

(6) 自治会活動

- ①朝礼、終礼等を活用しながら、利用者の意見を引き出す。
- ②利用者自身で考え、集団の中で意見を話し合う場を設ける。
 - ・健康や係活動・行事、他者との関わり、について情報発信するとともに、利用者自身で考えるきっかけ作りをした。事前に内容を検討し、準備や手順を確認し実施した。
 - ・朝礼や終礼で、利用者が自由に発言する場を設け、発言しやすい雰囲気づくりに努めた。今後はさらに特定の利用者のみならず気軽に発言しやすい方法を検討する。

(7) 行事

年間行事予定

日付	内容	場所	目的	人数
4/1	入所式・歓迎会	あきつの園	入所利用者、職員の紹介	31名
8/10	暑気払い	あきつの園	利用者の日頃の労をねぎらう。	50名
10/25	バスハイク	伊豆方面	利用者・職員・保護者との親睦を深める	71名
10/31	ハロウィンパーティー	あきつの園	季節感のある催しを利用者・職員で楽しむ	43名
11/3	大運動会 地蔵祭り	八坂小学校正 福寺	法人全体行事 自主生産品販売(地蔵)	73名 2名
12/19	クリスマス会	あきつの園	利用者・職員で、楽しみ日頃の労をねぎらう。	53名
12/23	施設祭	あきつの園	地域との交流を図る	55名
1/14	成人を祝う会	中央公民館	法人全体行事 人生の節目として成人・還暦を祝う。勤続の周年の節目を祝う。	
1/19	新年会	あきつの園	一年の始まりを祝う、新年の挨拶、抱負、書初め、事業所内にて人生や就労の節目を祝う。	
3/19	ボウリング・納会	久米川ボウル	年度の終わりに皆で楽しみ労をねぎらう。 一年を振り返る	51名

グループ外出

月 日	場所	参加人数
7/7	高尾山	2名+㊦2名
7/10	鉄道博物館	7名+㊦2名
7/13	藤子・F・不二雄ミュージアム	5名+㊦2名
9/21	食べ歩き(横浜中華街)	6名+㊦2名
9/29	映画(MOVIX昭島)	3名+㊦2名
10/6	東京ドームシティアトラクションズ	5名+㊦3名

11/27	温泉（スパジウムジャパン）	11名+㊦4名
-------	---------------	---------

- ・個別のニーズに沿って、小グループでの外出が実施でき、利用者の日常の楽しみや余暇の充実、仕事への意欲に繋がった。また、施設祭とバスハイクを地域の方や保護者も参加出来る形で再開した。

7. 防災訓練

- ①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画に基づき、月1回の防災訓練を行う。

訓練項目	回数
園内避難訓練（火災・地震）	12回／年
消防署立ち合い初期消火・避難訓練	0回／年
警察署による講話	0回／年
施設内災害教育	0回／年

- ②多機能事業所の特性を生かし、幼児室ポッポとの年数回の合同避難訓練の実施、避難場所に指定されている所へ移動訓練も行う。
- ③施設内での炊き出し訓練を実施し、防災備蓄品の確保をする。
- ④救急救命士による講習会を行なう。
- ⑤非常用の薬、処方箋、緊急連絡等の準備と管理を行う。
- ・利用者、職員で施設内の消火器の場所の確認を行なう。東京消防庁HPを活用し防災に関するクイズや動画を見て、利用者自身で考える機会を設けた。
 - ・地震の場合と火災の場合と状況に応じて具体的なシミュレーションを行い、実際に起こりうる場面を想定し訓練を実施した。
 - ・危険予知トレーニングを行い、自身で考える機会を設けた。
 - ・今後は立川防災館へ行き、体験を通して利用者・職員への意識付けを行ないたい。

避難誘導訓練	あきつの園	毎年実施の自衛消防訓練効果確認は中止
消防用設備点検	(株)千代田防災	2回（10月・2月）

訓練実施日

4 / 26、5 / 20、6 / 28、7 / 22、8 / 29、9 / 26、10 / 28、11 / 11、
12 / 27、1 / 17、2 / 28、3 / 26 ※奇数月はポッポ合同訓練

8. 地域との交流

- ①地域の清掃活動、回収、行事への参加等を通じて、地域住民の方々と日常的に関わりを持つ機会を意識的に作る。また、あきつの園が中心となり地域住民と一緒に地域清掃を行うイベントを企画運営し、地域に貢献する。
- ②市内小中学校への訪問活動、事業所の作業体験、ホームページ・フェイスブック・インスタグラム・地域版の広報誌を活用し、事業所の活動を理解してもらう取り組みを行う。
- ③地域の自治会と協力しながら、地域活動のお手伝いや備品の貸し出しを行い、身近な地域の相談窓口としても活用してもらう体制を整える。
- ④中学校学ぶ会の職員派遣を行なう。
- ・法人内事業所合同でのゴミ拾いを実施し、清掃活動を通じ、地域貢献・事業所間の交流の場となった。
 - ・日常的に資源回収やアルミ缶回収に協力を頂き、そのお礼としてサンクスウィークを実施し、地

域と相互にメリットのある関係性の構築に努めた。

- ・地域交流として施設祭を実施し、事業所の活動理解のきっかけ作りとなった。
- ・市内のイベントに複数参加し、木工品販売を通して地域との関係づくりや事業所のPRを行なった。
- ・市内の中学校へ障害理解のための啓もう活動の為、訪問した。

9. 実習生の受け入れ（利用者・職員）

- ①地域の支援学校等より実習を受け入れ、将来の就労の場の選択肢となるように支援する。学校からのアセスメントの状況を共有し、作業環境にも配慮する。
- ②市役所、社会福祉協議会等と連携し、福祉サービスの活用に結び付かない在宅者等にも働きかけ、社会生活を送るための動機付けの機会を提供する。
- ③教員や社会福祉士を目指す学生などの実習を受け入れ、福祉の人材育成にも貢献する。
- ④中学生、小学生の体験授業の受け入れをする。
 - ・特別支援学校からの実習生を積極的に受け入れ、次年度は1名入所となる。また、2年生の実習も数多く受け入れ、令和6年度も再度実習の実習希望も多数予定している。
 - ・個別に配慮が必要な方の受け入れも可能な限り実施した。
 - ・学生の実習やボランティアを受け入れ、福祉の人材育成に努めた。

対 象	実 習 内 容	期 間	人 数
支援学校生徒（2，3年生）	施設の日中活動体験	6・7・9・10・11・ 12・2月	14名
大学生	介護体験	5日×6回	10名
専門学校	保育実習	12日×4回	7名
市内外の方	施設見学・実習体験	本人に合わせ調整	3名

10. 保護者会等との連携

- ①支援の充実を図るため、家族、後見人等との情報交換を密に行う。
- ②月1回全体保護者会と、年1回保護者との個別面談を開催する。
- ③講座などを組み入れ保護者の方への情報提供や気分転換の場を提供する。
- ④家族で参加できる行事を行い、交流の場とする。
- ⑤あきつの園便りを月1回配布し、園の活動状況を把握していただく。
 - ・保護者会を実施し園での様子を伝え、保護者との意見交換や情報共有に努めた。今年度新しく取り組み始めた山鳩体操については、動画で紹介した。
 - ・講座の実施は出来なかったが、園からの情報発信はお便りを活用し行なった。
 - ・コロナ禍で保護者の参加を見合わせていたバスハイクや施設祭りを保護者も参加する形で実施した。
 - ・園便りにて新規入所者や職員、園での様子やを掲載し、活動の状況を発信した。
 - ・個別面談を実施。保護者と利用者のニーズを捉え、次年度の個別支援計画に反映し、情報共有の場となった。

11. 職員研修

- ①一社会人としての知識・情報を得るため、他業種の研修や見学、交流などを行う。
- ②研修の内容について、職員間で必要な情報を共有することで、職員全体の支援力向上を図る。
- ③虐待防止を徹底し、全職員を対象に研修を行う。
- ④研修予定

障害者虐待防止、権利擁護研修、社会福祉従事者人権研修Ⅰ・Ⅱ、サービス管理責任者・更新研修、法人内研修部会の定期的な開催（年2回）、初任者・中堅・上級職員研修、災害教育研修等・研修については、虐待防止や苦情解決について職員全体で実施し、日頃の現場で実践できるよう知識の習得に努めた。

研修内容

研修名	実施日	主催	場所	参加者
メンタルヘルス研修 4-5月 ラインケア L1～L3	4月25日	公益社団法人東京都医師会	あきつの園	徳田
令和5年度第1回虐待防止・権利擁護研修	6月28日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	牛越
メンタルヘルスケア研修 セルフケア研修	9月20日	東京都福祉保健局 医療・福祉事業所内メンタルヘルスセルフケア等スキル向上支援事業	あきつの園	鈴木
医療・福祉事業所内メンタルヘルスケア研修	10月18日	東京都福祉保健局 医療・福祉事業所内メンタルヘルスセルフケア等スキル向上支援事業	あきつの園	小林
令和5年度福祉職員定着・育成セミナー「ハラスメントのない職場づくり」	7月25日～ 9月12日	東京都福祉人材センター研修室	あきつの園	牛越
令和5年度 第1回新任職員の定着・育成入門研修～担当者任せにせず、組織の課題を整理しよう～	7月25日～ 9月12日	東京都福祉人材センター研修室	あきつの園	牛越
てんかん基礎講座	7月23日～ 8月21日	公益社団法人 日本てんかん協会(波の会)	あきつの園	鈴木
学習会「知的障害のある人の性教育と支援のありかたについて」	6月28日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	飯淵
労働基準法などに関する研修～福祉事業所経営に求められる労務管理とは～	7月4日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	徳田
相模原障害者殺傷事件の真相に迫る	7月23日	ロフトプラスワン	LOFT/PLUS ONE	牛越

令和5年度 全国知的障害関係施設長等会議	8月7日～ 21日	公益財団法人 日本知的障害者福祉協会	あきつの園	徳田
令和5年度東京都障害者虐待防止・権利擁護研修(障害者福祉施設等職員コース)	7月25日～ 8月18日 8月22日	公益財団法人東京都保健福祉財団	あきつの園	牛越
福祉職員キャリアパス対応生涯研修 令和5年度中堅職員研修	8月22日・ 23日	東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室	あきつ園	小林
令和5年度 東京都サービス管理責任者基礎研修及び児童発達支援管理責任者基礎研修	9月14日・ 15日	総合健康推進財団 関東支部 東京都サービス管理責任者等研修事務局	府中の森 芸術劇場	鈴木
令和5年度 東京都サービス管理責任者基礎研修及び児童発達支援管理責任者基礎研修	8月17日・ 18日	総合健康推進財団 関東支部 東京都サービス管理責任者等研修事務局	東京都社会福祉保健医療研修センター	小林
令和5年度社会福祉事業従事者研修 II型	10月30日	東京都福祉保健局	東京都社会福祉保健医療研修センター	小林
安全管理責任者選任時研修	12月～		あきつの園	徳田
ファンドレイジング研修	1月10日～ 2月21日	東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室	あきつの園	徳田
「あらためて障害のある人の性について考える」	2月20日	東京都社会福祉協議会	あきつの園	塩野

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回/月	施設内活動全般
評価会議	2回/年	利用者の生産性・工賃等の見直し等
生産活動会議	1回/月	健康・衛生・地域・家庭生活・就労等
ケース会議	1回/月	利用者一人一人の個別の会議・月に3名
厨房会議	1回/月	なごみの里・みどりの森・東京天竜との合同会議
研修報告会	随時	個別参加の研修報告
幼児室ポップ合同会議	1回/月	事業経過報告・他

※その他必要に応じて開催

13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。

②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。

・誠実な対応を心掛けて、苦情の前に相談で解決した。

(2) 個人情報保護

個人情報保護規定に基づき、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切且つ安全に扱います。

(3) 権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行います。

②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的を開催します。

③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講します。

・利用者の人権を守り、法人内の研修部会を通し自主性・主体性を尊重した支援を行った。

・虐待防止研修を事業所内で実施し、日々の言動に注意を払い、職員間での声掛けや意識向上に努めた。

・利用者と職員との関わり方について、職員間で話合う場を設けた。

(4) セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止、対応にあたります。

・施設職員を男女1名ずつ配置し、防止にあたった。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	徳田 文雄	042-392-4800
担当者	牛越 拓生	同上
第三者委員	江幡 房枝	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	徳田 文雄	042-392-4800
担当者（男性）	大竹 正史	同上
担当者（女性）	鈴木 ひかり	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	牛越 拓生	042-392-4800
担当者	小林 祐貴	同上

・車両事故・・・2件（2件とも運転職員の過失なし、公用車一部修理、怪我人はなし）